

総合施設モデル事業に関する調査C
(担当職員用)

I 回答者の属性等

1 あなたは、何歳児を担当していますか → _____ 歳児

年齢	—
0 歳	1 5
1 歳	1 6
2 歳	2 6
3 歳	3 3
4 歳	3 3
5 歳	4 4

2 あなたが担当するお子さんは、何人ですか。

→ 幼稚園児又は短時間対象園児 _____ 人

1～5	1 4
6～10	7
11～15	1 0
16～20	1 8
21以上	3 5

保育所児又は長時間対象園児 _____ 人

1～5	2 0
6～10	1 9
11～15	2 5
16～20	2 7
21以上	3 0

※ ここで「短時間対象園児」とは、幼稚園児と同様に恒常的に4時間程度の教育・保育が終了後、降園する園児を、「長時間対象園児」とは、保育所児と同様に恒常的にそれ以降も保育を受ける園児のことです。

Ⅱ 施設設備や職員配置に関する意見等

1 保育室の面積など施設設備に関する意見や感想があれば記入してください。

(主な意見の状況)

- 保育室や園庭については現在の広さで十分とする意見と、合同活動を行う場合など不十分とする意見が同程度存在。午睡や長時間保育、収納といった専用のスペースが不足との意見も見られる。
- 設備面では、エアコン等の空調・温度管理、数や体を洗う場所などのトイレの環境、遊具に関する要望が多く見られた。
- また基本的に3歳以上児の利用を想定した施設設備を3歳未満児が利用する場合、例えばドアや段差、目が届くかどうかなど安全性の確保に配慮が必要との意見も見られる。

2 職員配置や職員資格に関する意見や感想があれば記入してください。

(主な意見の状況)

- 職員配置については、現状で十分との声は少なく、より手厚い職員配置を望む意見が多い。
- 職員資格については、職員の多くが現に幼稚園教諭免許や保育士資格を併有している、あるいは両資格の併有が望ましいとの意見が多い。
その上で、一定の場合に弾力的な職員配置を求める意見もある。

Ⅲ 幼稚園児（又は短時間対象園児）と保育所児（又は長時間対象園児）の合同活動を行う上での配慮

合同活動を行う際に、どのようなことに配慮していますか。次の項目別に記入してください。

1 指導計画を作成する段階における配慮

(主な意見の状況)

- おおむね幼稚園教育要領及び保育所保育指針を踏まえ、子どもの発達や年齢、生活のリズムの違いを踏まえた無理のない指導計画を、短時間児担当職員と長時間児担当職員が情報共有を図りながら作成しているとの意見が多い。また、異年齢交流を活動内容に取り入れているとの意見が多い。

2 指導を行う段階での配慮

(主な意見の状況)

- 子どもの発達や年齢、生活のリズムなどの違いを踏まえた無理のない指導が心がけられている。異年齢交流においては、思いやりや憧れの気持ちが持てるようにするとともに、健康や安全、情緒の安定に配慮している。

3 学級運営、保護者への対応等における配慮

(主な意見の状況)

- モデル事業に保護者の理解が得られるよう、合同活動や異年齢交流の際の子どもの様子を中心に、送迎時の会話や連絡帳・園便りなどを活用して、園での様子をできるだけ詳しく伝えようとしているとの意見が多い。

4 休業日等が異なることへの対応（幼稚園児（又は短時間対象園児）と保育所児（又は長時間対象園児）とでは利用日（週末など）や夏季休業等の休業期間が異なりますが、合同活動を行う上で、教育・保育の一貫性、連続性を確保するために、どのような配慮をしていますか。）

(主な意見の状況)

- 休業日や休業期間中も預かり保育や自由登園を行うとともに、活動内容についても一斉の新たな活動や取組は行わず、縦割りの活用や終日自由遊びといった通常とは異なる保育を行う、家庭の雰囲気に近い保育を心がけるといった工夫が行われている。

IV 給食に関する評価（給食を実施している施設の職員のみ回答願います）

1 年齢に応じた給食の評価

一人一人の月齢・年齢・発育状態や食事の回数・時機などに応じたきめ細やかな対応が行われていますか。

- ① 行われている（116/ 132 ）
- ② 行われていない（16/ 132 ）

（具体的に

(主な意見の状況)

- 量や大きさ、刻み方を調節するなど、子どもの月齢や年齢などに応じた給食の提供を行っているとの評価が多い。

2 食物アレルギー児に対する給食

食物アレルギー児に対する給食に関し、きめ細やかな対応が行われていますか。

① 行われている (112/ 5)

(具体的な内容を記載)

② 行われていない (7/)

(具体的な内容

)

(主な意見の状況)

○ 除去食や代替りのメニューによる提供が行われている。

3 体調不良児に対する給食の評価

体調不良児がやむなく登園してきた際にどのような対応をなされていますか。

(主な意見の状況)

○ 量を減らす、下痢のときは牛乳をやめる、油ものをやめる、ごはんをおかゆにするなど水分補給や消化吸収の良いものに変えるなど、体調に合わせて無理しないことを基本に対応している。

V 総合施設モデル事業を実施してみて良かったと感じたこと、難しいと感じたことは、どのようなことですか。

① 良かったと感じたこと

(主な意見の状況)

○ モデル事業の効果として、

①異年齢交流を含む子どもの交流の広がりが、子どもの育ちに良い影響を与えている

②自らの教育・保育観を問い直す契機となるなど、職員の意識啓発・意欲の向上につながっている。

との評価が多い。

② 難しいと感じたこと

(主な意見の状況)

○ 課題としては、

①子どもの1日の生活のリズムや集団生活の経験年数が異なることへの対応

②職員間の円滑な相互理解・意思疎通

③生活スタイルや考え方の異なる保護者の理解が多く挙げられている。